北海道真駒内養護学校

進路だより

決める力・見る　聞く　感じる力・伝える力
つながる力・やる気　元気
発行日：第１号　令和８年６月１７日

進路だよりは、進路支援に関わる情報や、各学部段階で大切にしたい取組、卒業後の生活や社会参加につながる話題などをお伝えすることを目的に、年３回の発行を予定しています。児童生徒の皆さんと保護者の皆様が、将来の進路選択や社会参加について考える際の一つの参考にしていただければ幸いです。

学校を卒業し、一人一人が自分らしく豊かな生活を送っていくためには、高等部になってから進路を考え始めるのではなく、小学部・中学部段階からの日々の学びや経験の積み重ねが大切になります。小学部段階では、生活リズムを整えたり、身の回りのことに取り組んだりしながら、安心して活動に参加する力や、支援を受け入れながら人と関わる力を育てていきます。中学部段階では、学習や行事、校外での活動などを通して経験を広げ、自分の好きなことや得意なこと、必要な支援を知ることが大切になります。高等部段階では、これまで培ってきた力を卒業後の生活に生かせるよう、進路先や生活の場について具体的に考え、本人・保護者・学校・関係機関が連携しながら準備を進めていきます。

今年度も、児童生徒一人一人の思いや状況に合わせ、より自分らしい進路につながるよう、進路に関する情報を分かりやすく発信してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

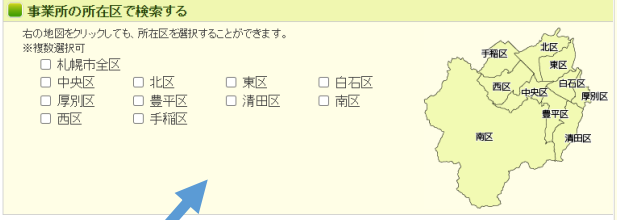
令和８年度　進路支援部９名　よろしくお願いします

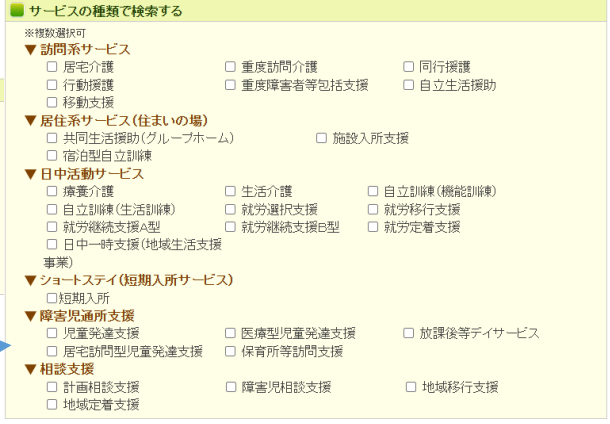
進路支援部長	小　学　部		中　学　部		高　等　部			訪問教育学級
後藤	杉浦	菅原	澤田	佐藤(厚)	日光	大釜	安井	野上
								

困ったとき、どこに相談する？　どんな支援が使える？

① 相談するところ	② 制度に基づいて使う支援	③ 地域の手助けを使う仕組み
通所支援事業所、相談支援事業所、区役所保健福祉課など。	居宅介護、重度訪問介護、移動支援、短期入所、日中一時支援、生活介護など。	地域ぬくもりサポート事業など。
困りごとを整理し、必要な情報提供や関係機関の紹介、福祉サービス利用の相談につなげる入口です。	受給者証や支給決定などに基づいて利用する支援です。利用内容は障害の状況や必要な支援に応じて決まります。	支援を必要としている障がいのある方と、お手伝いをすることができる地域の方々をつなぐために取り組む札幌市独自の事業です。

元気さーち　札幌市障害福祉サービス事業所等 空き情報ホームページ





所在区やサービスの種類で検索が可能です

R７年度卒業生の進路先

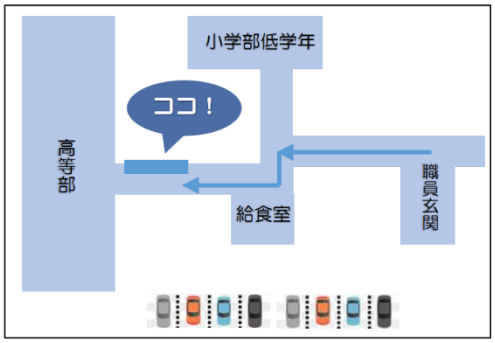
進路先	進路先地区	サービス種
未来さぽーと白石	札幌市白石区	生活介護
0・むすび（おむすび）	札幌市南区	生活介護
北広島コラボ（ミルト）	北広島市	生活介護
びぃこねくと	札幌市南区	生活介護
ソーシャルサロンセラヴィ	札幌市南区	生活介護
あゆみ	札幌市白石区	生活介護
ラポリア白石北郷	札幌市白石区	生活介護
北海道リハビリー（たいし）	札幌市厚別区	生活介護
Café ぷちりーべ	札幌市東区	生活介護
ソルキッズ	札幌市中央区	生活介護
きらり	札幌市豊平区	生活介護
自由工房	札幌市手稲区	生活介護
こころの樹	札幌市東区	生活介護

昨年度の卒業生の進路先です。この４月から社会人としての新しい生活を頑張っています。進路というと「高等部になってから」という印象を持たれるかもしれませんが、小学部入学と同時に進路に向けての教育は始まっています。各学部で必要な力を、授業や日常生活の中で身につけていきます。難しいことではなく「手伝い」「協力」「着替え」「整理整頓」「あいさつ」「余暇」「泊学習」「買い物」等すべてが進路につながっています。学校卒業後の社会生活をイメージし日々の生活の積み重ねを大切にしながら希望進路に向けて共に取り組んでいきましょう。

進路情報コーナーのご案内

高等部校舎に入る手前の１階廊下に、進路情報コーナーがあることをご存知ですか？過去１０年間の卒業生が通っている事業所の一覧やパンフレット（自由にお持ち帰りいただけます）、事業所マップ、進路だよりなどを掲示しています。小学部、中学部の保護者のみなさまはこれまで目にしたことがないコーナーかもしれませんが、来校時に是非足を運んで進路情報に触れてみてください。尚、その廊下を少し進んだ先の高等部職員室には進路支援部長の後藤がおりますので、確認したいことなどがありましたらお気軽にお声がけください。

進路コーナーの場所







新しい情報には「**NEW**」のマークがついています

事業所マップ





事業所のある場所に付箋が貼ってあります

進路に関わるワードを解説！
進路ワード

「卒後支援」

本校では、卒業後の進路先への定着を図るため、関係機関と連携しながら卒業後３年を目途に、次のような「卒後支援」を行います。

合理的配慮

困りごとや必要な支援を整理して相手に伝えることで、学校卒業後の事業所利用や外出先でも活動しやすい環境を相談できます。

就労選択支援

働く力や希望、必要な支援を整理し、就労継続支援Ａ型・Ｂ型など本人に合う進路を考えるための手がかりになります。

躍動の会（本校高等部卒業生の会）

卒業後の生徒の現況と動向の把握、進路情報の提供と交換を目的に、定期総会、交流会を行ったり会報「SPA 通信」を発行したりしています。

関係機関との連携

相談支援事業所や市（区）役所等の行政機関等と連携して生徒の現況と動向について情報を共有し、モニタリングや他のサービス利用の提案・調整等を行います。